

# 米山委員長・カウンセラー研修会 報告

米山奨学委員会 委員 **堀田修平**  
(枚方RC)

概要：2014年7月26日(土) 10:00~12:10 葉業年金会館601号室

参加者：59クラブ(申込は69クラブ)の米山奨学委員長およびカウンセラー 56名(申込は70名)、

泉ガバナー、近藤米山奨学会副理事長、岩田地区米山奨学部門顧問、簡、西邨、井川、矢田各IMガバナー補佐、村橋、磯田地区研修委員、米山奨学委員長以下23名の地区委員、総計79名

## ■泉ガバナーあいさつ

本年度スローガンはライト・アップ・ロータリーであります。米山奨学会に於きましてもライトアップ・米山で、各ロータリアンにご寄付を戴きライトアップを實踐して頂きたく思っております。

## ■近藤委員長あいさつ

昨年度の寄付に対してお礼申し上げます。昨年度に引き続き、一人あたり3万円の寄付金目標とさせて頂きたく思っております。また、一人でも多くのロータリアンに米山奨学事業のファンになって頂きたい。現在海外には6学友会があり活動も活発におこなわれていること、選考基準、奨学生としてクラブ例会・行事への出席、等の説明があった。

奨学生は卒業後も学友会等で日本と世界の架け橋となって頂く為にも、ロータリアンのご協力とご寄付をお願い致します。

尚、皆様の当年度寄付金は2年後にご使用させて頂きます。

## ■近藤米山奨学会副理事長

米山奨学生はバイトをしなくて奨学金(寄付金総額が減っても一人あたりの奨学金額は減額しない)で十分に勉強して頂き、米山奨学会やクラブ例会と各行事に出席して楽しんで戴きたい。その為にも各ロータリアンが米山奨学会を理解して頂き、心のこもった寄付金を目標額以上で宜しくお願い致します。

また、奨学生の国籍問題は人類愛とロータリアンの大きな気持ちで配慮して頂きたい。

## ■DVD鑑賞「米山梅吉とその生涯について」

初めて見たという方々も多くおられましたが、日本のロータリーと米山梅吉の生涯を通してのポリシーを理解して頂けたと思います。

## ■米山奨学事業について深く学ぶ

古城副委員長より2013~2014年度当2660地区の米山奨学寄付金と世界の米山学友会(奨学生卒業)について詳しく説明が行われた。1人当たり22,591円で全国第3位、対前年度額では増加額1200万円で全国第1位等がありました。また、国別奨学生の比率(中国+韓国比率:合計40%)等や、海外6学友会の活躍が詳しく説明があった。

## ■米山学友からの報告

コウ テキ君(中国)は最初は奨学金を戴くのは宝くじに当たるように思っておりましたが、クラブ例会や多数の行事に出席するたびにカウンセラーをはじめ会員の暖かさを感じました。ロータリーや米山奨学会の真髓がよく理解できました。

グエン ティトゥイ ガーさん(ベトナム)は日本の父ちゃん、母ちゃんが出来てとても嬉しかった。そして、世界的な学友・奨学生のファミリー(台湾、中国、ミャンマー、韓国、マレーシア、モンゴル等)も沢山できてよかったです。また、ホストクラブの行事にも進んで参加させて頂き楽しく過ごすことが出来ました。

## ■質疑応答

2人の方より質問がありました。年間3万円の寄付の根拠を示して欲しい。答：本部より書面にて回答して頂く(ガバナー月信2013年8月号11ページに記載あり)。奨学生27人では寄付金額見合い分約40人と合わないのではないか。答：新規生27人+2年目の奨学生10人でありおおまかに合致します。

## ■岩田顧問よりの講評

暑い日にご参加頂き有り難う御座いました。有意義な研修会で良かったと思います。これから1年間ご協力をお願い致します。